

2005年3月期 中間決算説明会



2004年11月12日

ホームページ: <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>

問い合わせ先: 事業管理室 栗原 義弘

e-mail: yoshihiro_kurihara@yachiyo-ind.co.jp

TEL (04)2954-7331

決算報告

常務取締役
管理本部長

杉山 幸右

中期経営計画と今期見通し

代表取締役社長

大竹 茂

参考資料(会社概要)

資料後半部へ添付

常務取締役
管理本部長

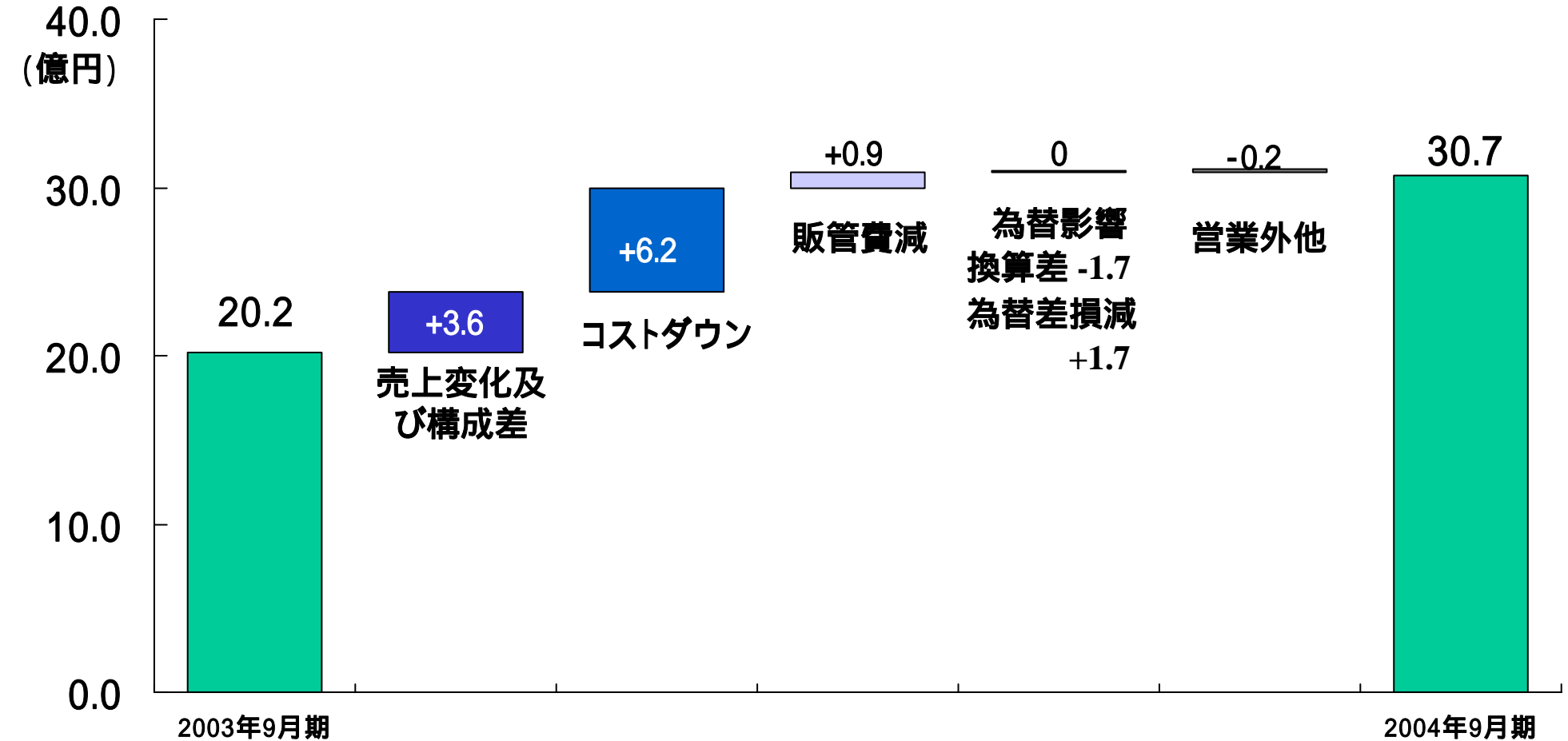
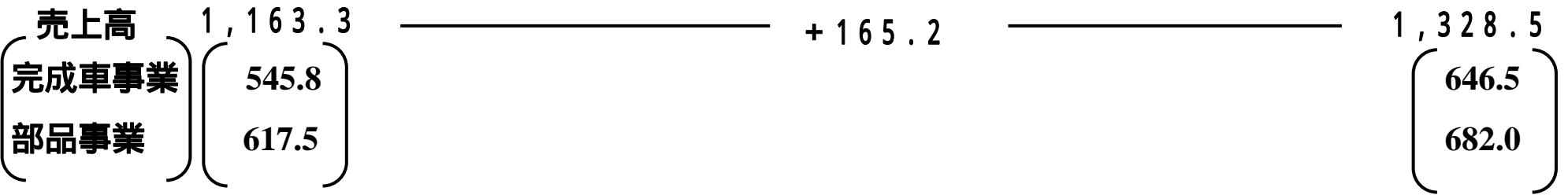
杉山 幸右

2005年3月期 中間決算報告

- ◆ 連結業績
- ◆ 連結貸借対照表
- ◆ 連結キャッシュフロー
- ◆ 単独業績

	2003年9月	2004年9月	対前年同期比 伸び率	コメント
売上高	1,163億円	1,328億円	+14.2%	-
完成車事業	546億円	646億円	+18.4%	生産台数 1.8万台増
部品事業	617億円	682億円	+10.5%	国内生産 増 54.6億円 北米生産 減 6.8億円 アジア生産 増 16.7億円
営業利益 (対売上高比率)	20.5億円 (1.8%)	29.4億円 (2.2%)	43.6%	・国内及びアジア地域における売上高の増加に伴う利益の増 +13.0億円 ・北米地域における売上減少に伴う利益の減 4.1億円
経常利益 (対売上高比率)	20.2億円 (1.7%)	30.7億円 (2.3%)	51.9%	為替差損の減 関連会社持分利益の減
当期純利益 (対売上高比率)	9.8億円 (0.8%)	15.7億円 (1.2%)	60.2%	-

2004年9月期 経常利益変化(連結ベース)



売上高

	2003年9月	2004年9月	対前年同期比 伸び率
連結売上高	546億円	646億円	+18.4%

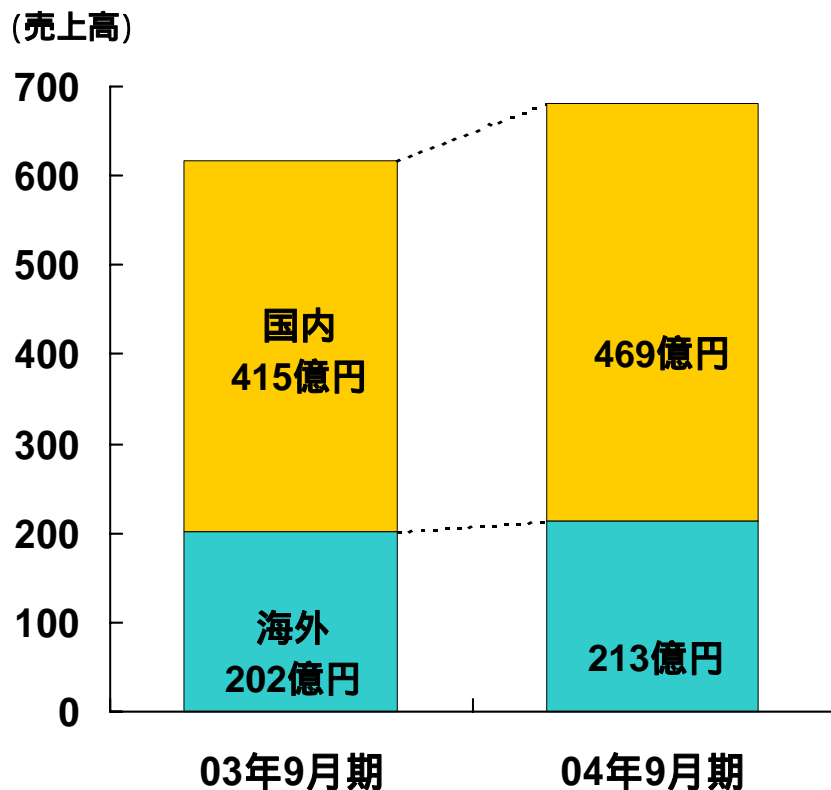
生産台数

	2003年9月	2004年9月	対前年同期比 伸び率
生産台数合計	8.6万台	10.4万台	+21.1%
ライフ	3.9万台	6.1万台	+55.8%
アクティ	4.7万台	4.3万台	-7.9%

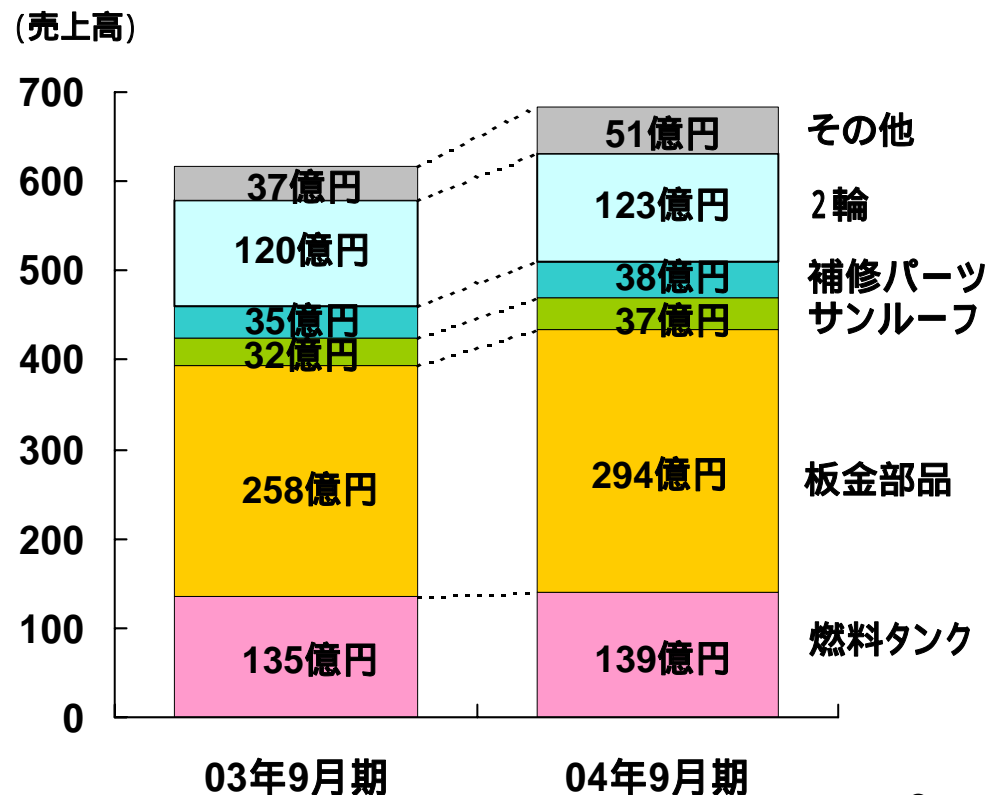
売上高

	2003年9月	2004年9月	対前年同期比 伸び率
連結売上高	617億円	682億円	+10.5%

国内 / 海外区分



部品別区分

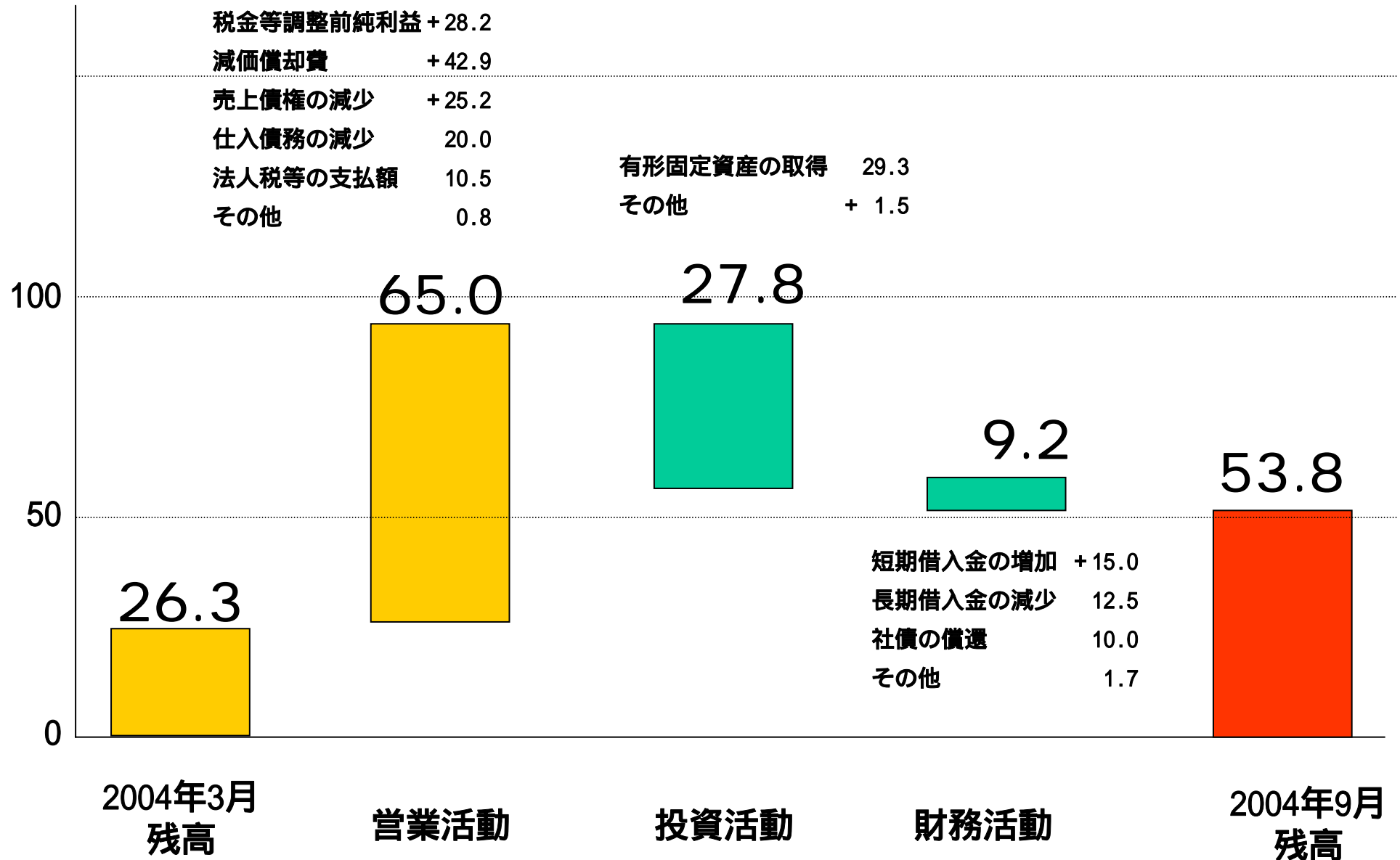


連結貸借対照表

	2004年3月	2004年9月	対前期末比 伸び率	コメント
総資産	1,049億円	1,035億円	-1.3%	現金及び預金の増 26.1億円 売掛金の減(主に完成車事業) 25.8億円 有形固定資産の減 23.0億円
株主資本	259億円	275億円	+6.0%	利益剰余金の増 14.2億円 有価証券評価差額金の増 2.5億円 為替換算調整勘定 1.3億円
有利子負債	333億円	326億円	-2.1%	利益、減価償却費により減少
株主資本比率	24.7%	26.5%	+1.8P	-
1株当り 株主資本	1,078円	1,143円	+65円	-

連結キャッシュフロー

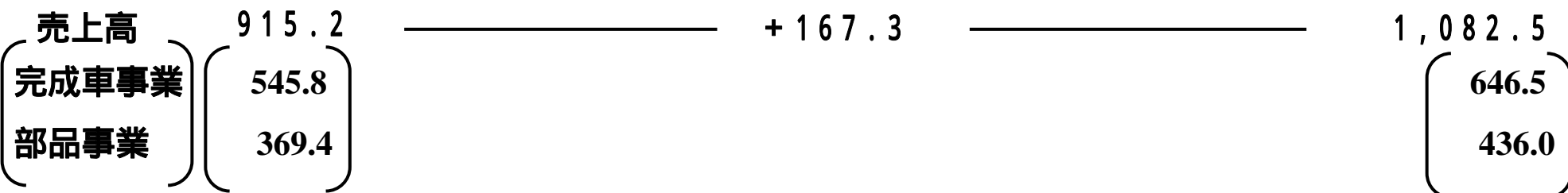
(億円)



	2003年9月	2004年9月	対前年同期比 伸び率	コメント
売上高	915億円	1,082億円	+18.3%	完成車事業 +101億円 部品事業 + 66億円
営業利益 (対売上高比率)	1.6億円 (0.2%)	12.5億円 (1.2%)	+662.7%	完成車事業及び部品事業における 売上高の増加に伴う利益の増
経常利益 (対売上高比率)	4.6億円 (0.5%)	12.9億円 (1.2%)	+180.2%	営業利益の増
当期純利益 (対売上高比率)	2.6億円 (0.3%)	6.9億円 (0.6%)	168.1%	-

	2004年3月	2004年9月	対前期末比 伸び率	コメント
総資産	858億円	819億円	-4.6%	主として売掛金及び有形固定資産の 減少
株主資本	253億円	261億円	+3.1%	利益剰余金の増 5.4億円 有価証券評価差額金の増 2.5億円
有利子負債	259億円	238億円	-8.0%	利益、減価償却費により減少

2004年9月期 経常利益変化(単独ベース)

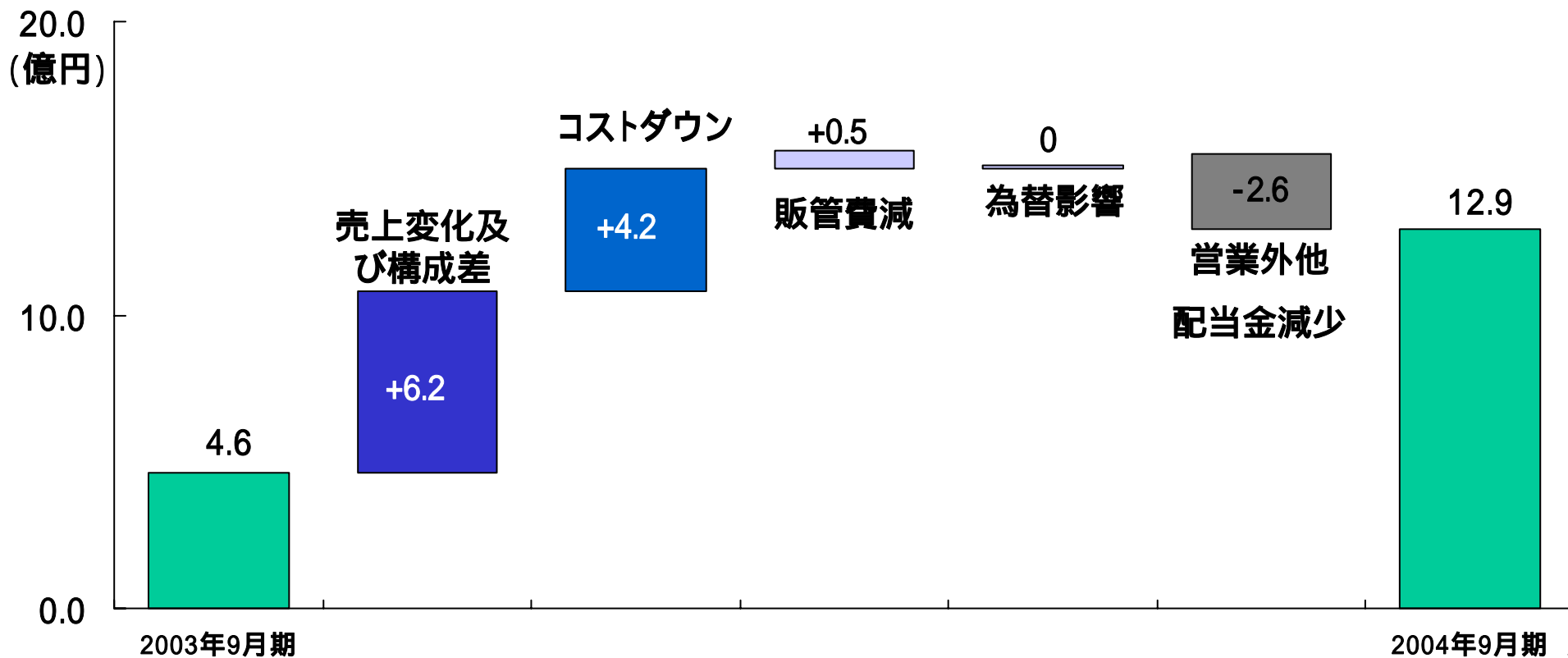


生産台数 550.4千台

600.2千台

内、完成車事業 (85.7千台)

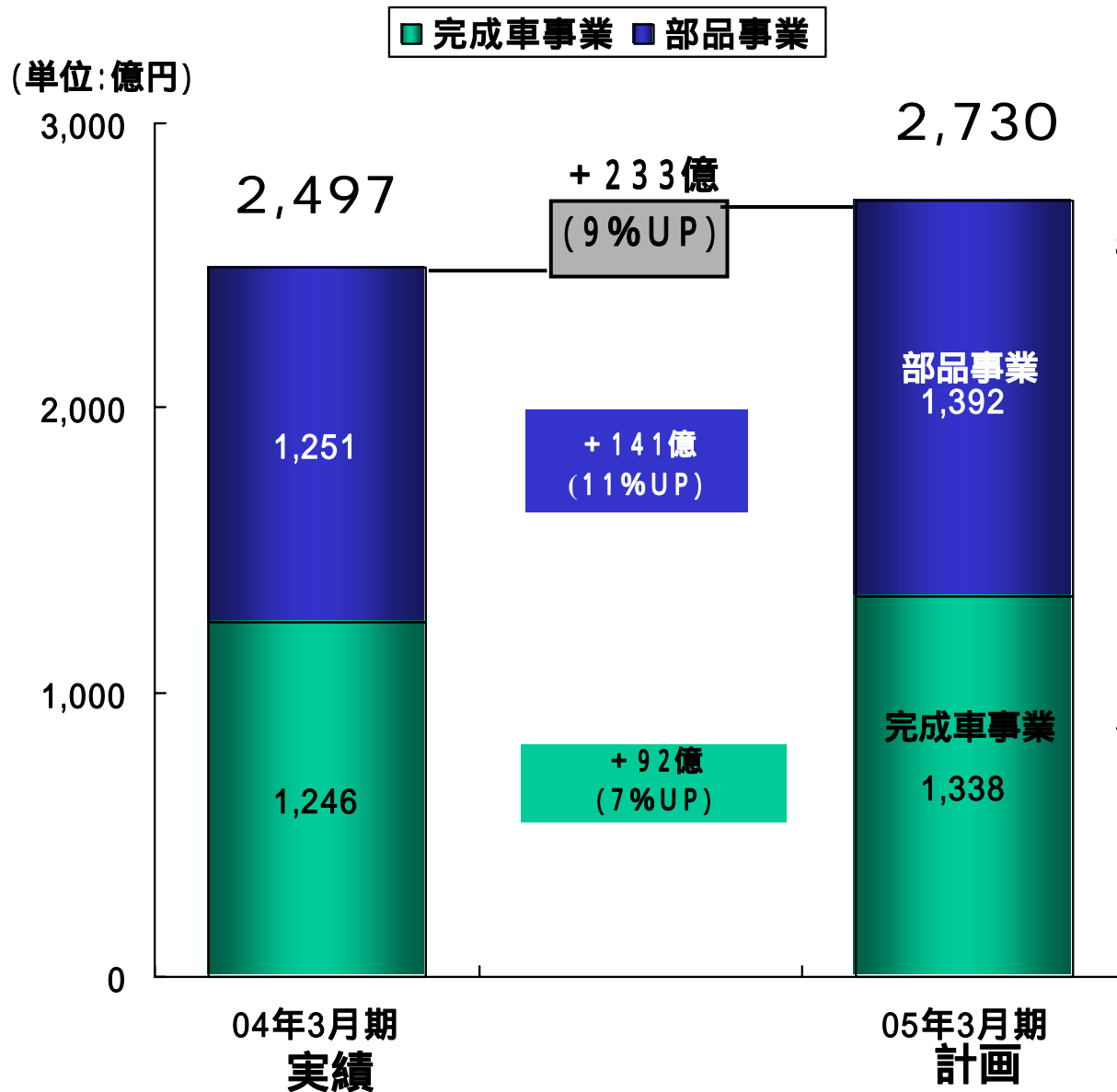
(103.8千台)



2005年3月期 決算予想

2005年3月期 連結業績 (予想)

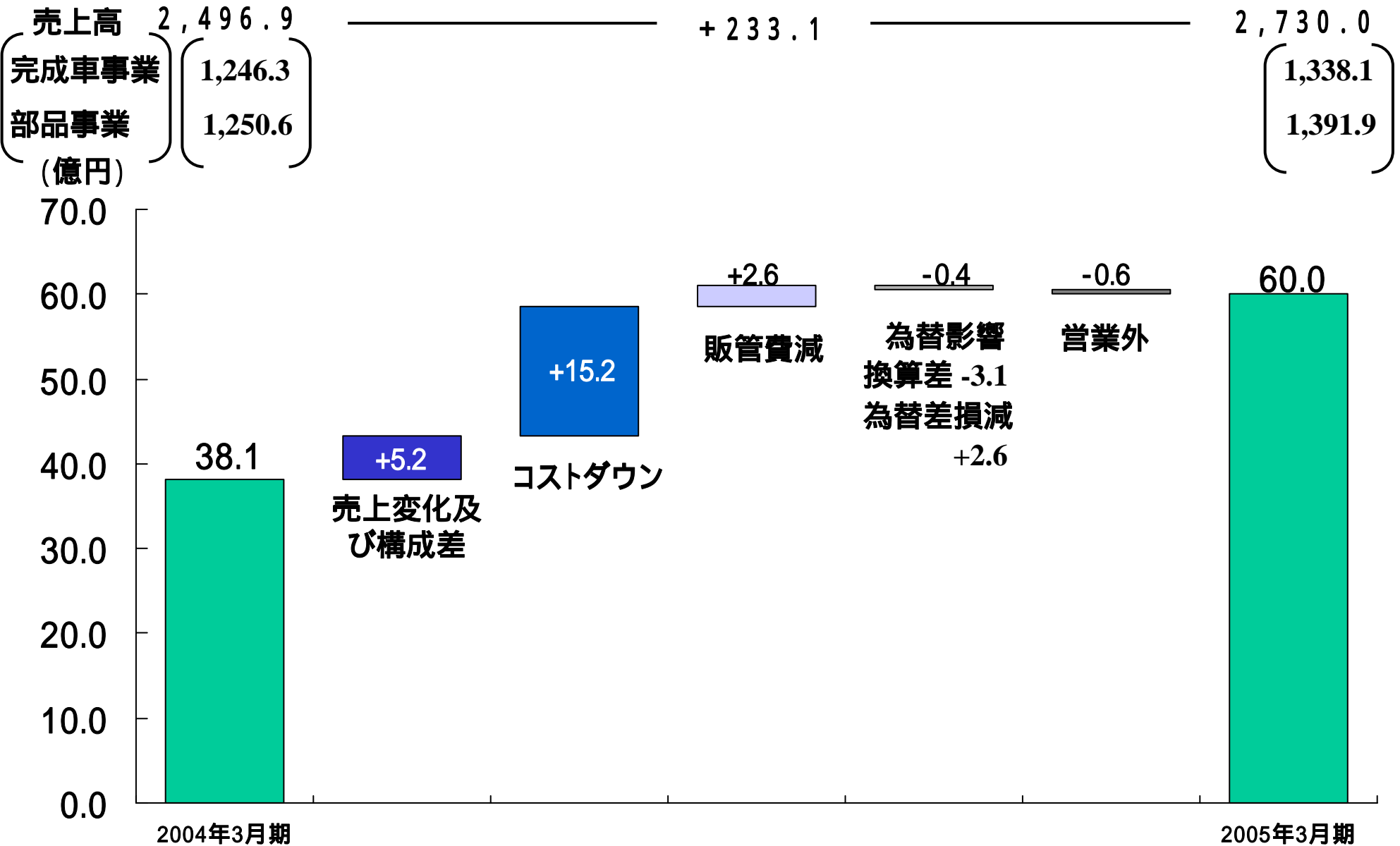
	2004年3月期 実績	2005年3月期 予想	対前年比 伸び率	2005年3月期 期初対発(5/7)
売上高	2,497億円	2,730億円	+9.3%	2,630億円
営業利益 (対売上高比率)	39.1億円 (1.6%)	59.0億円 (2.2%)	+51.0%	46.0億円 (1.7%)
経常利益 (対売上高比率)	38.1億円 (1.5%)	60.0億円 (2.2%)	+57.6%	45.0億円 (1.7%)
当期純利益 (対売上高比率)	17.5億円 (0.7%)	31.0億円 (1.1%)	+77.5%	23.0億円 (0.9%)



ポイント

- | | |
|-------------|-------------|
| 部品事業 | +141 |
| ・国内生産 | +114 |
| ・北米生産 | -5 |
| ・その他(アジア) | +32 |
| 完成事業 | +92 |
| ・台数増 | +114 |
| (+17.7千台) | |
| ・モデルミックス | -22 |

2005年3月期 経常利益変化(連結ベース)



代表取締役社長

大竹 茂

第8次中期経営計画の進捗状況と 今期見通し

(2002年4月1日～2005年3月31日)

第8次中期計画のビジョン

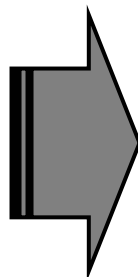
生産活動を通じ
企業価値の継続的拡大を図り、
世の中に存在を期待される
企業となる。

完成車事業

軽で圧倒的な競争力ある生産
体質を構築する。

部品事業

部品事業の生産体質を強化し、
グローバル競争の中で生き残れる
体質を作る。



長期ビジョン

お客様の満足のために
卓越した技術と
特長ある製品を供給する
提案型サプライヤー

完成車事業

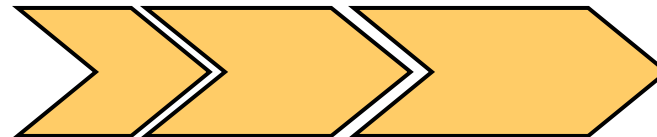
車体骨格部品の設計から生産
まで提案できる製造メーカーへの
展開

部品事業

フューエルシステム・コンポーネントメーカーへ
サンルーフの世界トップ3メーカーへ



第8次中期計画
2002/4 ~ 2005/3



全社方針

競争力ある生産体質を構築し、収益力の強化を図る

- ◆ 完成車事業は軽として圧倒的な競争力ある生産体質を構築
- ◆ 部品事業の収益力を強化し、グローバル競争の中で生き残る体質を構築
- ◆ お客様視点で信頼性の高い品質保証体制の確立

完成車事業

- ◆ 生産能力アップ
- ◆ コスト削減

フレキシブルラインの導入

塗装工程の効率化（直行率アップ）

組立工数の低減（サブラインの設置）

部品事業

- ◆ 収益性向上
 - ◆ 事業規模の拡大
- 基幹部品事業の拡大

燃料タンク：樹脂タンクの量的拡大とエバポ
規制強化への対応技術開発

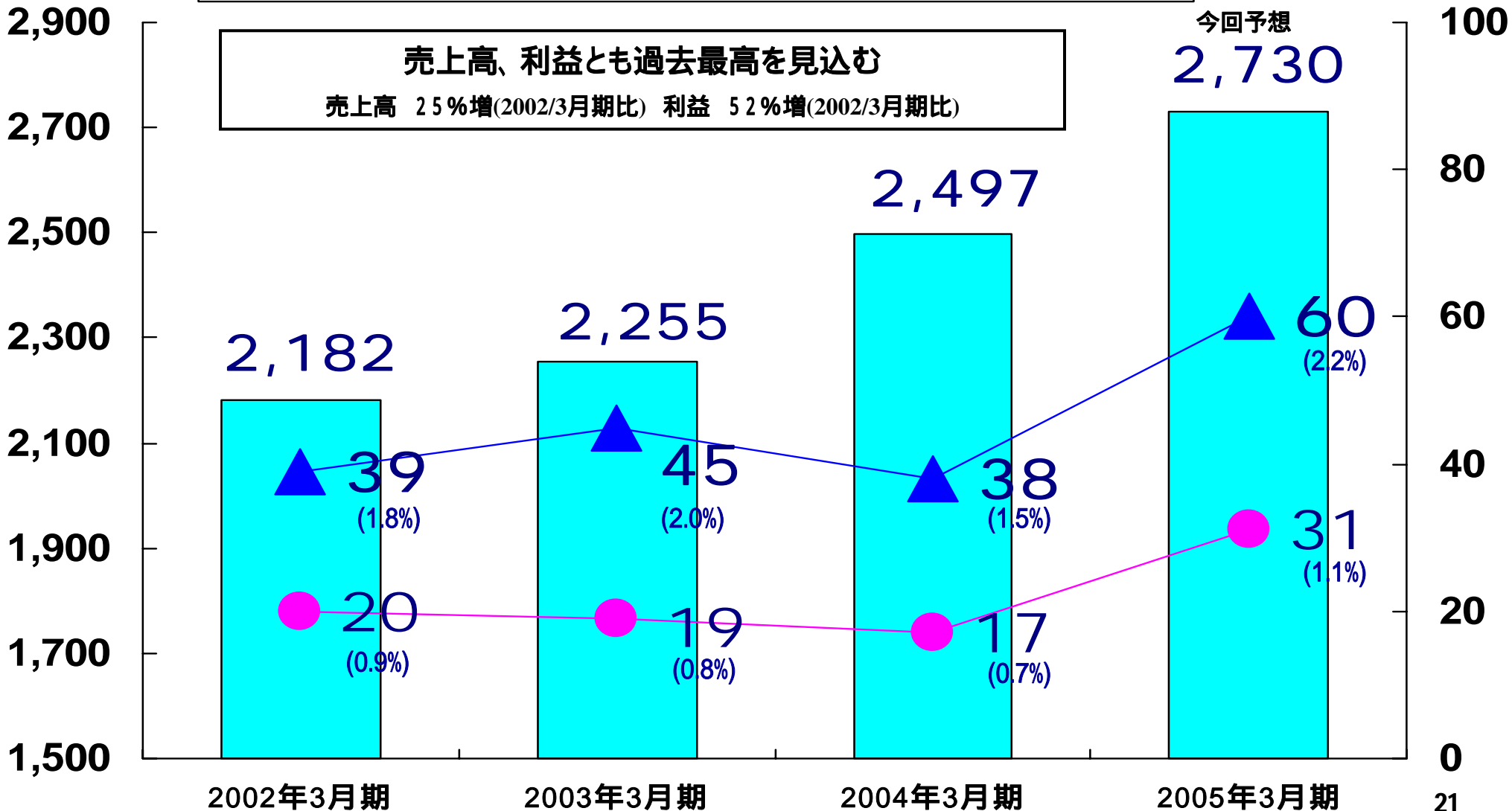
サンルーフ：ラインナップの充実とコスト削減
補修パーツ：事業規模の拡大

海外拠点の拡充

販路の拡大

■ 売上(実績/見込)
 ▲ 経常(実績/見込)
 ● 純利益(実績/見込)

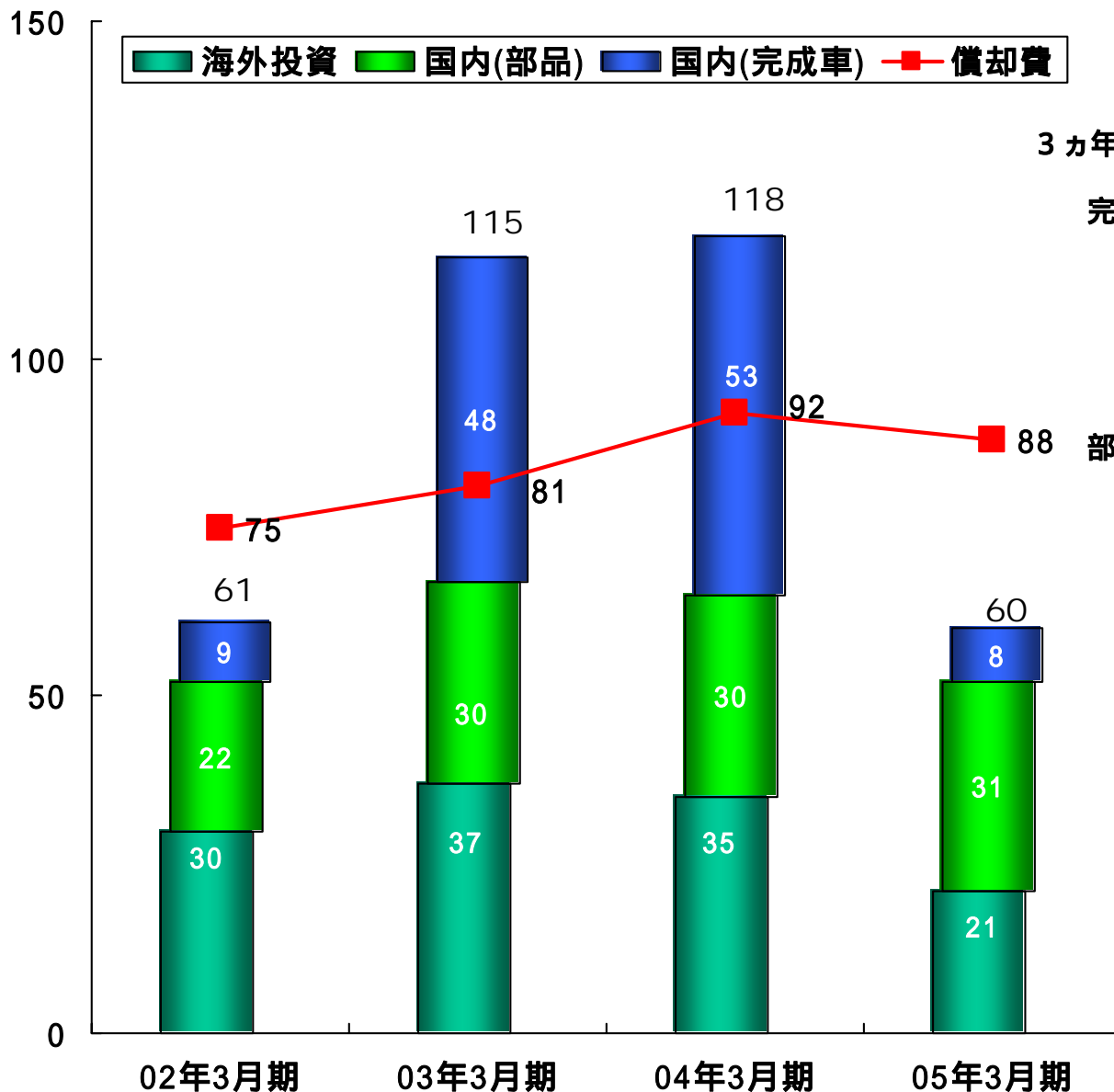
(単位:億円)



第8次中期実績見通レビュー 設備投資状況

(単位:億円)

生産基盤づくり(能力/規模拡大)は実施できた



3カ年累計投資 293億円

完成車事業 109億円・生産能力拡大/効率向上 83

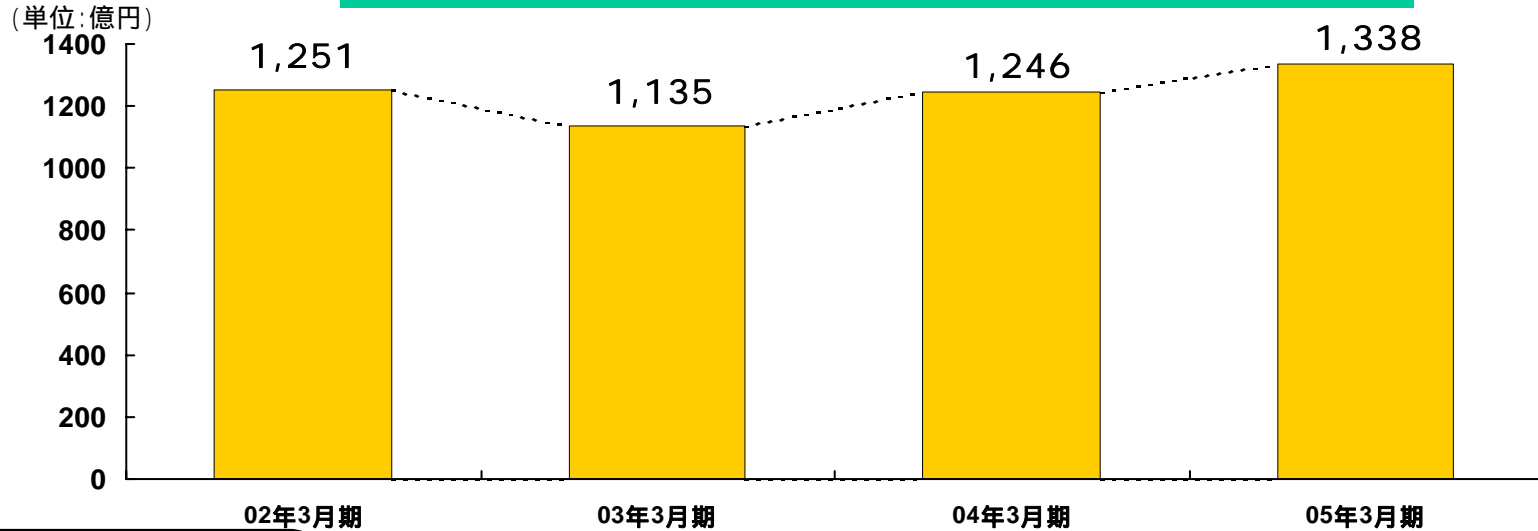
- ・合理化 7
- ・新機種 7
- ・更新 12

部品事業 184億円・事業規模拡大 59

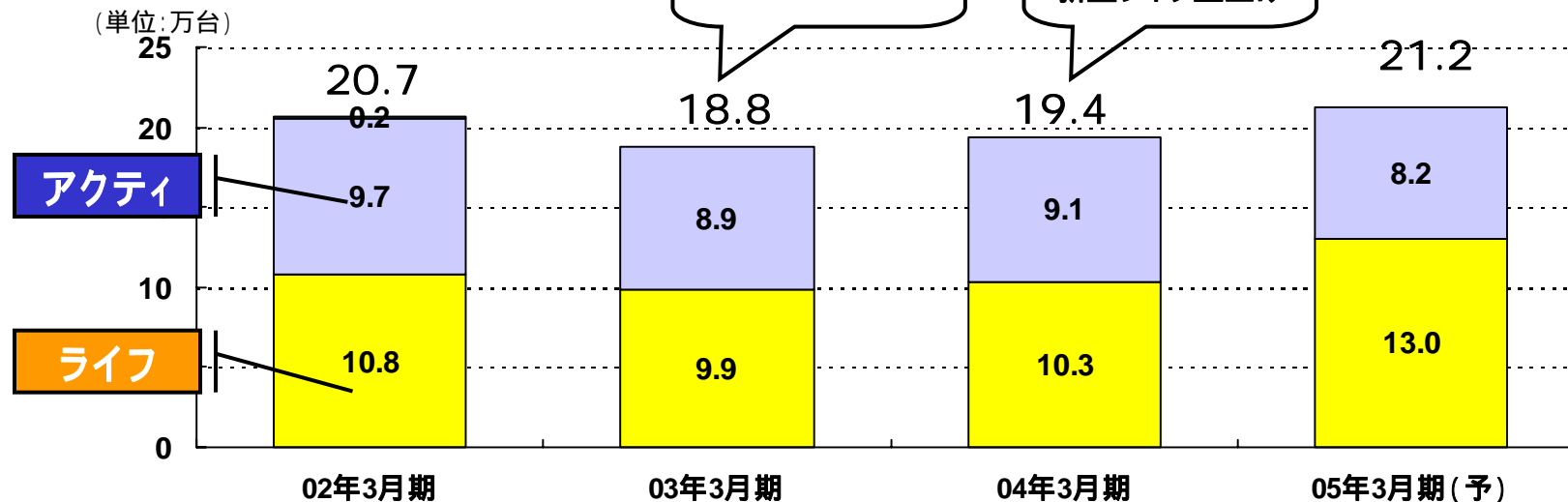
- | | | |
|----------|---------|----|
| 国内 91 | ~PFT | 36 |
| 海外 93 | ~プレス | 8 |
| | ~アパマ | 9 |
| | ~合志(2R) | 6 |
| ・合理化 | | 15 |
| | ~塗装体改 | 13 |
| | ~その他 | 2 |
| ・新機種(金型) | | 90 |
| ・更新 | | 20 |

売上高

大幅な「生産能力の拡大」と「生産効率の向上」を実現したライン構築が終了した



組立台数推移

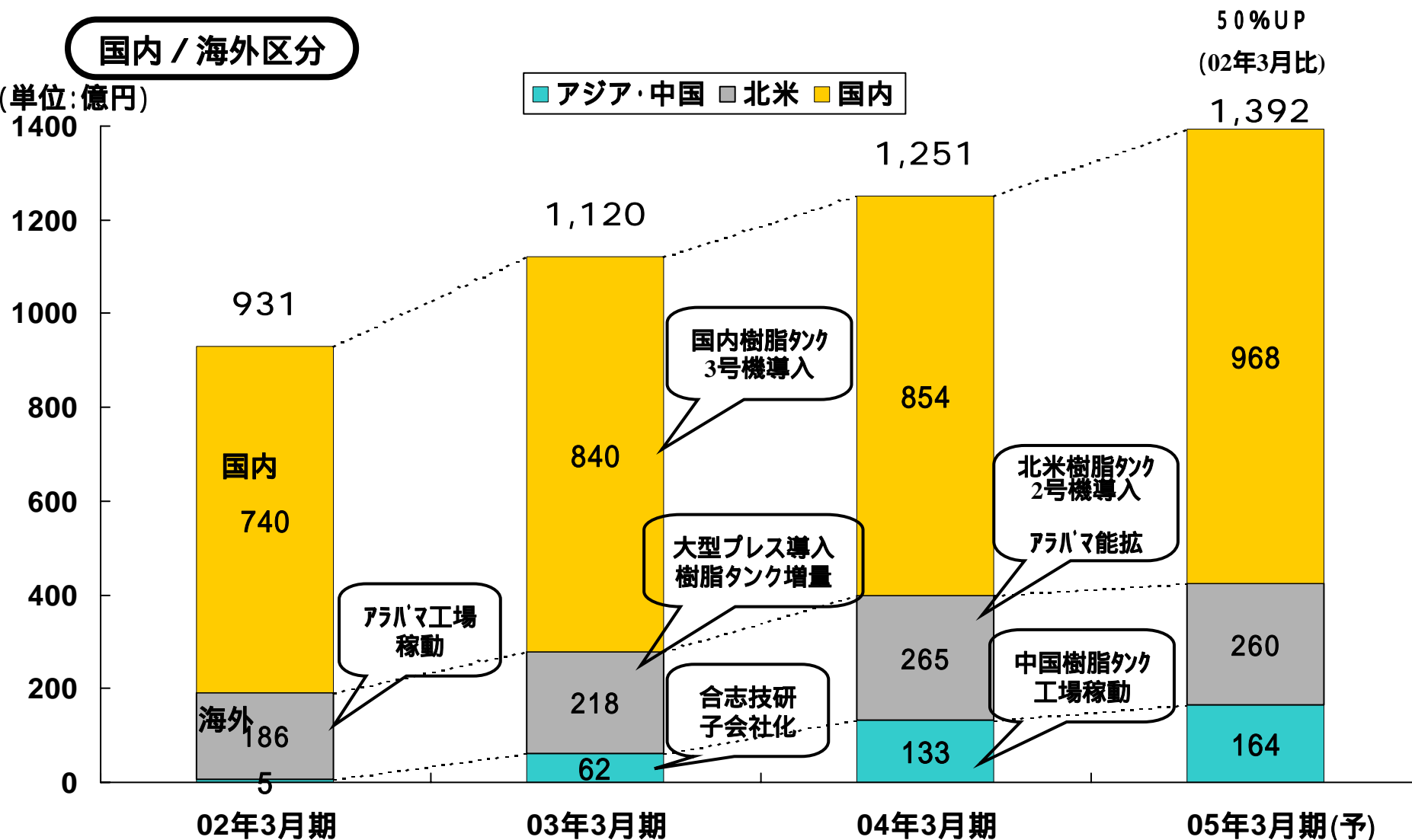


売上高

グローバルでの競争力ある生産体制の構築

国内 / 海外区分

(単位:億円)



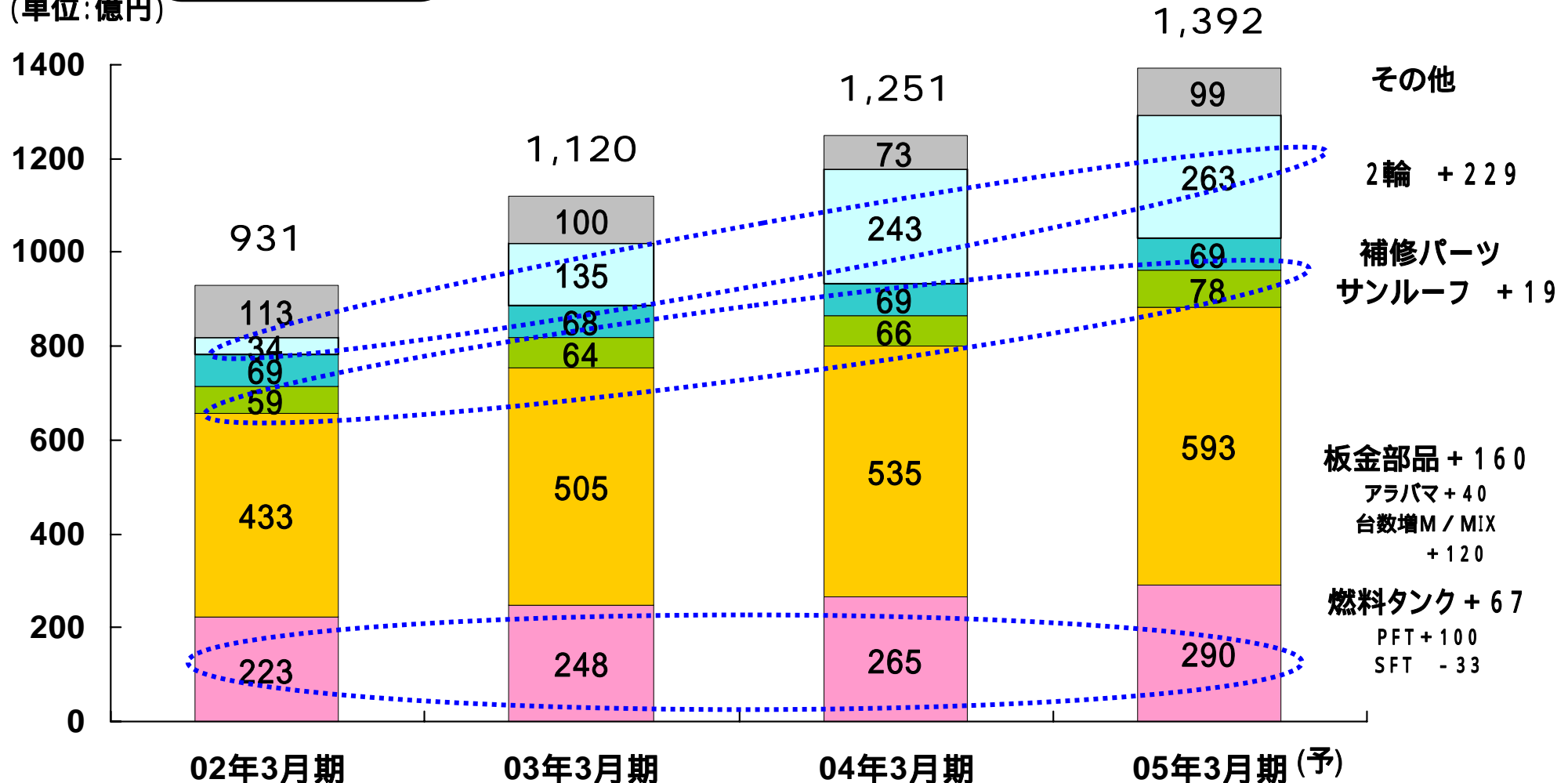
第8次中期実績見通レビュー 部品事業部門状況

売上高

樹脂燃料タンクビジネスの拡大
二輪・汎用ビジネスへの参入

部品別区分

(単位:億円)



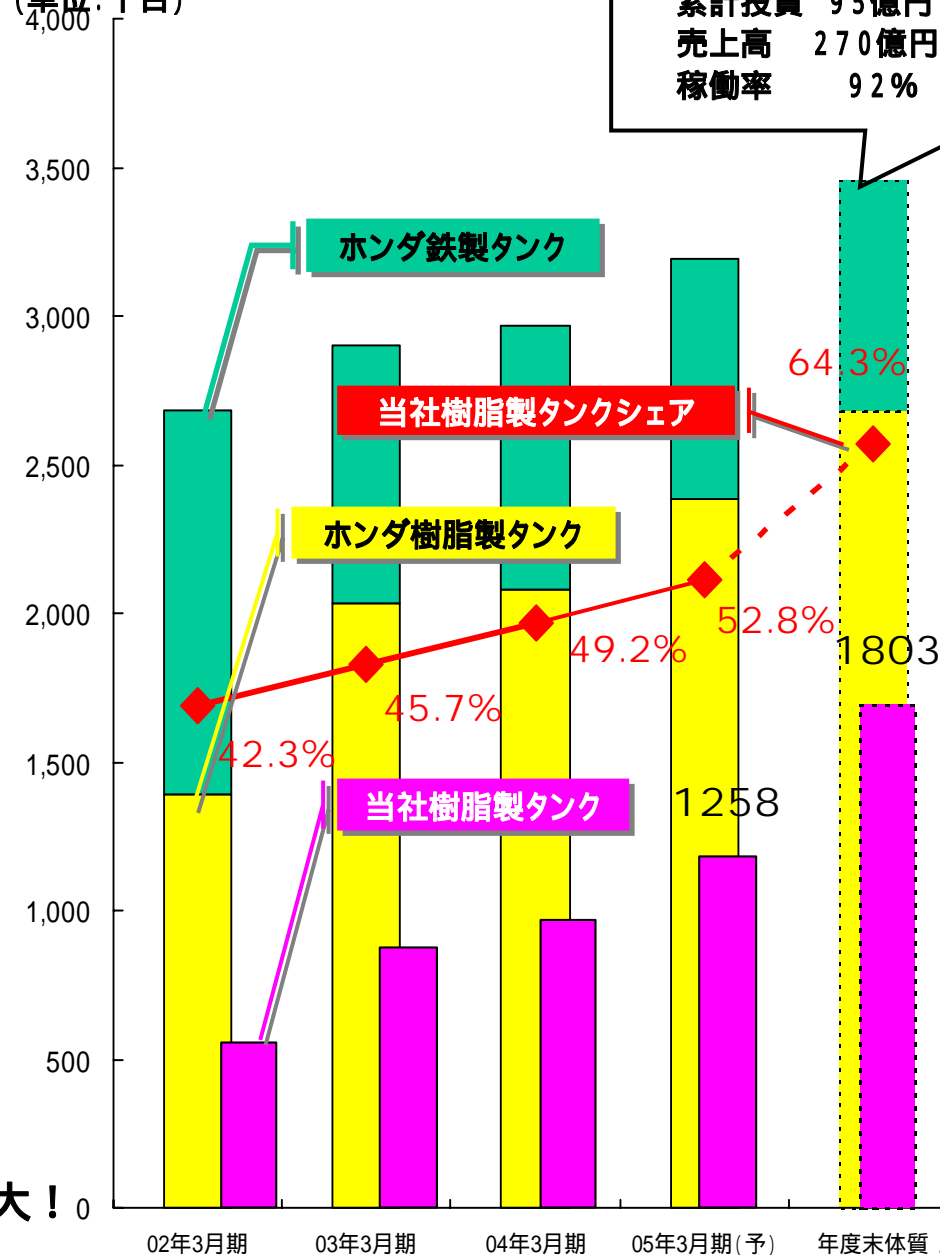
グローバル拠点拡大にて成長市場の足場づくり

エリア別の樹脂タンク生産能力拡大計画

	拠点	第8次中期計画			第8次 中期計画末 生産能力 (年間)
		03年 3月期	04年 3月期	05年 3月期	
日本	柏原	15万台 <small>中</small>			35万台
	亀山				40万台
北米	USY				80万台
中国	YZM				20万台
アジア	タイ				20万台

年間生産能力 **195万台** に拡大!

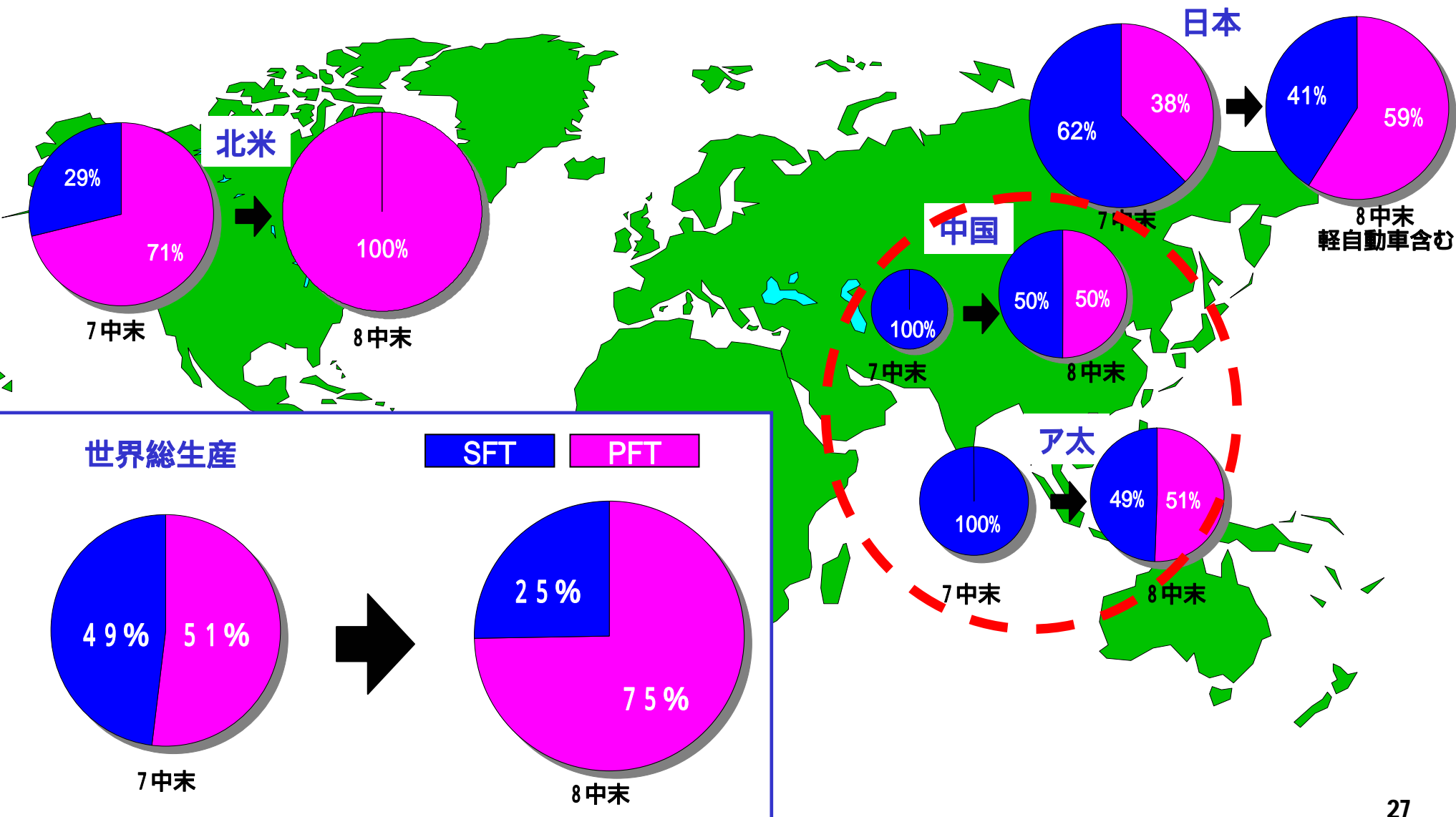
(単位:千台)



ホンダ燃料タンク生産の動向

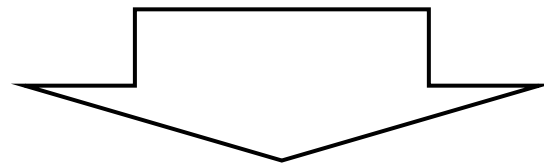
生産規模拡大し樹脂タンク比率も拡大

ホンダ 世界 燃料タンク生産比率
(単位: %)



いち早く「競争力ある生産体質の構築」が出来たことにより

- ・中国に於いては初となる4種6層の大量生産体制の確立が図れた。
- ・アジア(タイ)に於いては初めてで唯一の4種6層メーカーとしてスタートがきれた。
- ・環境規制(LEV)をクリア出来る技術力と高品質な商品力で安定的な供給体制の実現が図れた。



販路拡大のチャンス増大

2005年3月期 中間決算説明会



2004年11月12日

ホームページ: <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>

問い合わせ先: 事業管理室 栗原 義弘

e-mail: yoshihiro_kurihara@yachiyo-ind.co.jp

TEL (04)2954-7331